## データの可視化 レポート

## バス乗降データの可視化

2024年12月25日

学籍番号: 1022237

クラス:

氏名: 寸田和輝

3-B

## 1 可視化結果について

510・511 系統 松前出張所~函館バスセンター停留所別乗降実績表(平日)の可視化に取り組んだ。図1に示されるような可視化を行った。詳しいものは https://dvz.jugesuke.net/で確認できる。青色のバーが降車数、赤色のバーが乗車数、左右に伸びる灰色のバーが各駅間の利用客数を表している。このデータは、令和6年度第4回 函館市地域公共交通協議会総会(資料1-2)地域公共交通活性化協議会等において協議が整っていることの証明書(案)\*1 に掲載のデータを使用した。この資料に掲載されているのは、停留所ごとの乗車・降車・通過\*2の人数が表形式で掲載されているが、ここからは、どのような傾向があるのかを読み取ることは困難である。

## 2 データからわかること

このデータを可視化したことで、以下のことが 確認できる。

- \*1 https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/ docs/2024051300054/
- \*2 ここでいう通過は乗車人員を含めている

- 各停留所間における利用客の数
- 各停留所における乗降の激しさ
- 区間別の利用客の差

函館駅方面においては、富川会館前⇒七重浜保育園前から五稜郭付近に利用が集中している。松前出張所方面においては、五稜郭から七重浜保育園前⇒富川会館前に利用が集中している。また、亀田支所前においては乗降が激しく行われていることが読み取れる。加えて、函館バスセンター 16:42 発のバスについては、木古内本町⇒知内元町から知内公園入口⇒松浦にかけて突出して利用されていることがわかる。

可視化結果から、富川会館前~松前出張所・富川会館前~五稜郭・五稜郭~函館バスセンターで利用が大きく分かれていることがわかった。 実際、このバスは廃止されており、代替として、510系統の運行区間のうち以下の区間を走行するバスが挙げられている。

- 函館バスセンター~富川会館前(19系統)
- 函館駅前~五稜郭(55A系統)
- 五稜郭~亀田支所前(7B系統)
- 亀田支所前~西桔梗(72系統)
- 函館バスセンター~木古内(410系統)
- 函館駅前~新都市病院前(53系統)
- 富川会館前~亀田支所前(11系統)



図1 可視化されたバス乗降客数データの例

- 亀田支所前~函館バスセンター(33 系統)
- 富川会館前~函館バスセンター(19 系統)